



院長 須藤 英仁

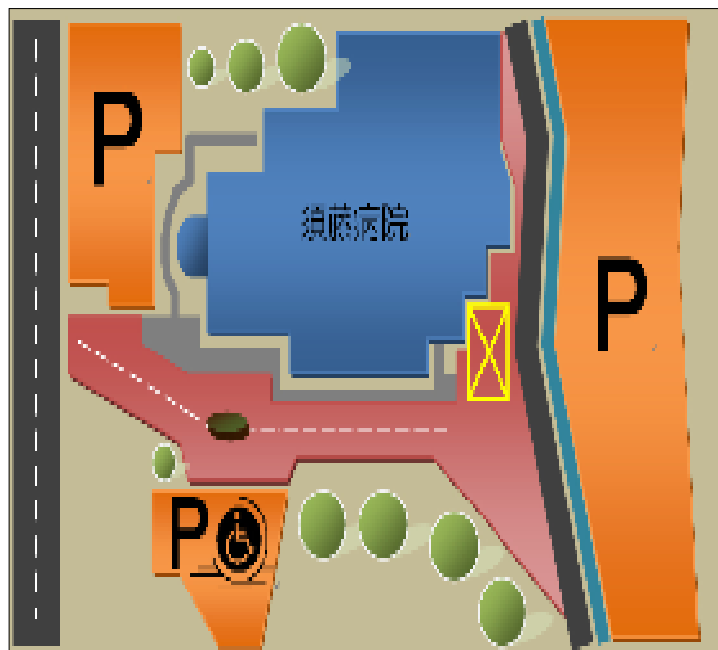
梅雨空が続いている今日この頃です。皆様お変わりはございませんでしょうか？

さて5月15日私たち医療法人済恵会グループの待望であった新病院を開設することができました。これも一重に新病院近隣の皆さん、患者さん、また地域医師会をはじめとする、多くの方々のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。開院に先立ちまして開催しました5月10日・11日の内覧会も、あいにくの天候でありましたが、千人以上の方において頂きありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

開院以来、電子カルテ・オーダーリングシステムなどの導入で数日間混乱しましたが、一時の騒動もおさまり、徐々にではありますが軌道に乗ってきたと思っております。6月よりは森久保聡一医師を迎え、眼科の診療もはじまります。

また、放射線読影医として小川久美医師も迎えることができました。日進月歩するCT・MRIの読影をはじめ、よりキメの細かい診断がされると大変期待しております。

電子カルテにデータが蓄積されるまでの数ヶ月はカルテの移動など、ご協力いただきますが、これから慣れることによりスムーズな診療を行えると思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



病院裏に大型駐車場があります。側道はスピードを控えて進み、そちらにご駐車下さい。
玄関前の優先駐車場は一般の方はご遠慮下さい。

さわやかクリニックのご紹介



さわやかクリニック
院長
柳澤 肇

オアシスをご覧の皆様、こんにちは！
さわやかクリニック院長の柳澤 肇です。
突然のご挨拶で驚かれたでしょうか？

皆様もご承知の通り、須藤病院は、新病棟を完成致しました。そして平成20年5月15日より旧病院が完全に新病院に移転しました。そこでこの度旧須藤病院を、『さわやかクリニック』としてあらためて開業することとなりました。須藤英仁理事長より私、柳澤 肇が、さわやかクリニックの院長に任命されました。須藤病院に平成4年から就職し、あっという間に16年が経ち、今回の大役の任と成った訳です。

新病院を見ますと病院の規模も大きくなり、病棟の環境、居住性も向上し、さらに最新の医療機器、電子カルテ、オーダーリングシステム等、最先端の病院に成ったと思います。これも須藤理事長の強い意志によるリーダーシップの賜物です。

さて、この度私が任されましたさわやかクリニックですが、こちらも本院と同様に電子カルテ、オーダーリングシステムを兼ね備えております。また、以前より使用しているマルチスライスCT (6列) もあり、診療所レベルでは、珍しい最先

端の機器を備えているといってもいいでしょう。本院ともインターネットでつながっており、最新の64列マルチスライスCT、最新鋭のMRI、心臓生理検査もすぐにさわやかクリニックからも予約できます。ある意味本院より非常にネットワークの良いクリニックであります。患者さんのなかには、『大きな病院は苦手だよ。』また、『いつも同じ先生が見てくれるのはありがたいね。』などの意見を聞くことがあります。そんな思いをされる方は、どうぞアットホームな『さわやかクリニック』をご利用下さい。これから少しずつ環境も整備し、名前通りさわやかなクリニックに生まれ変わって行きたいと思っています。

新米院長で、なかなか最初から皆様のご期待にこたえられないこともあると思いますが、私としては、患者さんお一人お一人のお気持ちを大切にして、出来る限りきめ細やかな診療を行っていく所存です。私を含め、さわやかクリニックスタッフ一同皆様方の御来院を、心よりお待ち申し上げております。

開業当初は、診療時間等いろいろ変わりますが、本院の開業との同時進行という諸事情もありますことをご理解の上温かく見守ってくださいますようお願い致します。

これをもちましてさわやかクリニック院長就任のご挨拶とさせていただきます。

眼科新規開設にあたってのご挨拶



眼科医 森久保聡一

6月から須藤病院の眼科外来全般を担当することになりました。福井大学医学部眼科とその関連病院で10年ほど勤務して参りましたが、故郷・群馬県に戻ることになりました。私に須藤病院で眼科をはじめさせて頂く一方で、安中市のふたば眼科医院が5月27日に閉院となりました。そのため、ふたば眼科医院の検査スタッフ・看護師がそのまま須藤病院にきて頂けることになり、私としては心強い限りです。このようなこともあり、今回の眼科新設には何か不思議な運命のようなものを感じております。

皆様が、眼科にかかるケースは様々です。「就学時検診で視力が十分でなかった。」「人間ドックで眼圧が高いと指摘された。」「糖尿病を患っ

ており、内科の先生に眼科受診を勧められた」「以前より、徐々に目がかすむようになった。」「毎年、この季節になると目がかゆい。」等、例を挙げれば際限ありませんが、まずは眼科受診をしてご相談ください。早期発見・早期治療が基本なのは眼科でも変わりありません。丁寧な診察を心がけ、患者様との対話を通して最適の治療方針を探っていきたいと考えております。私はすでに、医学博士・眼科専門医と既に取得しておりますが、医師の世界で10年というのはまだ若輩であることを日頃より痛感しております。これからも知識と技術を研鑽し、人格の向上を目指したいと思っております。

放射線科のご紹介



放射線科医 小川久美

この5月より、当院勤務させていただきます。放射線科の小川と申します。みなさまにおいては、「放射線科って何をしているの？」っていうのが、正直なところだと思います。ちなみに、私自身も放射線科に入局するまで、業務内容など知りませんでした。ERとか、海外の医療もののドラマをよく見ていると、臨床医師が、「明らかな…はないけど、確認のため、Radiologist〈放射線科医〉を呼んで」とか、「臨床症状の説明がつかないわ。Radiologistに相談してみましよう」とか、比較的ポピュラーな存在なのだとかわかります。臨床の流れに乗って仕事をしているのだと、思われます。日本では、そのような放射線科医もいるものの、閉鎖的な読影室で、CTとかMRIの画像のみを見て、患者さんや他の医師との接触が少ないというのが、

一般的と思われれます。実際、自分も過去数年はそのような環境で過ごしてきてしまっています。しかし、当院では、十分すぎる働きやすい環境を与えてもらっています。すぐ呼んでいただけるような放射線科医でありたい、と願っています。また、当院では、最新のCT・MRIが入っていますので、比較的短時間で撮影され、情報量の多い画像ができるようになっていきます。それらの情報を適確に解釈し、臨床に役立たせられるよう、努力するつもりです。どうぞ、よろしく、お願いいたします。